

森林レンジャーがゆく 「クマと遭遇しないために」

Vol.152

昨年に続き、今年も東北地方を中心にクマの出没・遭遇が多発していて、近年のクマの状況は異常と言えます。あきる野市周辺でもこの異常と思われる目撃・出没が始まっています。理由は色々あるようですが、これらは「アーバンベアー」とよばれる人間の生活圏で生活音を耳にしても頓着しないクマが増えているからと言われています。本来、臆病なクマは人間の生活音を嫌い、人と接触しないように市街地では人が寝静まった夜間に行動していたの

ですが、「アーバンベアー」は日中でも人前に出てきます。このようなクマについては、専門の知識がある方が捕獲するしか手立てがないと考えます。例えば、個々でごみ出しなどに注意しても、近年では家屋に侵入する事件も起きているからです。また、ハイキングや山仕事・畑仕事などのアウトドアでクマと遭遇しないためにはどうすればよいか。それはやはり、ラジオやクマ鈴を鳴らす手法が一番効果的だと考えます。

ハイキングや野良仕事の際、クマ

の聴覚に人の存在を知らせることで、遭遇を避けやすくなります。

例えば、令和2年～6年のクマとの遭遇率とクマ鈴などの効果を集計した秋田県の統計記録から見ると、クマ鈴等を適切に使用した人のクマとの遭遇率は4.9%、不適切なクマ鈴の利用だった場合(ザックの中など)の遭遇率は16.4%、クマ鈴を持っていない人の遭遇率は78.7%とあります。このことから、明らかにクマ鈴やラジオは有効な手段といえます。くれぐれもアウトドアでの

活動には注意してください。以前のクマと明らかに状況が変わっています。
(杉野)



市内の山中にてセンサーカメラで撮影